



第70期 中間報告書
2017年4月1日～2017年9月30日

Top Message



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2017年9月30日をもちまして、第70期（2017年4月1日から2017年9月30日まで）の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長
英 裕治
Hanabusa Yuji

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調が続いています。また、世界経済は全体としては緩やかに回復しているものの、中国やその他アジア新興国経済の先行き、地政学的リスクの影響など、不透明な状況です。このような状況の中で当社グループは、BtoB事業へのリソースの重点配分を継続し、全社収益の安定と再成長を図ります。音響機器事業のうち、放送・設備市場へTASCAMブランドで展開しているBtoB事業は、国内市場への機器販売のみならずレコーディング・ソリューション・カンパニーとしての事業拡大を目的とした投資を進めてまいります。BtoC事業では収益性向上を重視した事業運営を継続します。事業の選択と集中を完了した情報機器事業については、再参入を遂げた機内エンターテインメント機器の国内外エアラインへの導入を確実に実施し、また欧米市場で順調に伸ばしている医用画像記録再生機器並びに計測機器は中国市場へ本格参入を進めてまいります。

特に、計測機器の中でも好調なセンサーについては、半導体製造装置市場での更なる成長に加え、新規市場開拓を目指します。また、前期実施しました年金制度変更に加えて、当期は希望退職による固定費削減を実施することにより、損益分岐点を下げる取り組みを行っております。

当中間期におきましては、売上収益は前年同期並み、また営業利益については、希望退職に伴う割増退職金等の費用2億2千9百万円が発生したものの、希望退職者に係る退職給付債務の清算に伴う利益1億5千8百万円、および固定費削減効果により前年同期より改善しました。この結果、当社グループの当中間期の売上収益は78億1千6百万円（前年同期比0.3%増）、営業損失は3億1千8百万円（前年同期営業損失4億5千5百万円）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は4億5千3百万円（前年同期親会社の所有者に帰属する四半期損失4億2千万円）となりました。

通期の業績見通しについて

当中間期及び前年同期とも営業損失を計上しておりますが、当社グループの業績の特性は、季節要因により、売上、利益とも第4四半期に集中する傾向があります。また、希望退職等の構造改革による費用改善効果は第3四半期以降の収益改善に寄与します。

なお、2018年3月期の連結売上収益は174億円、営業利益3億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は5千万円を予想しております。

全グループ社員一丸となって通期の業績見通しの達成に向け邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月

連結業績ハイライト（国際会計基準）

		第68期 2016年3月期	第69期 2017年3月期	第69期（中間） 2016年9月期	第70期（当中間） 2017年9月期
売上収益	(百万円)	20,455	17,346	7,792	7,816
営業利益	(百万円)	43	295	△455	△318
税引前当期利益	(百万円)	△132	△8	△391	△425
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(百万円)	△196	△52	△420	△453
基本的1株当たり 当期利益	(円)	△0.68	△0.18	△1.46	△1.57
資産合計	(百万円)	13,122	11,192	11,536	10,507
資本合計	(百万円)	802	638	△120	333

音響機器事業

60.2%

24bit/96kHz 対応
リニア PCM レコーダー

売上収益 4,703 百万円

(前年同期比 5.9%減)

セグメント営業利益 237 百万円

(前年同期セグメント営業利益 3 百万円)

高級オーディオ機器（ESOTERIC ブランド）は、第2四半期にフォノアンプ、ネットワークプレーヤーの新製品を導入し国内販売に復調の兆しも見え始め、さらにアジアや欧州の輸出も好調に推移しました。高級オーディオ機器全体としては減収となりましたが、販管費の削減により増益となりました。

一般オーディオ機器（TEAC ブランド）も、国内外にレコードプレーヤーの新機種を投入し販売のてこ入れを図りました。一方、更なる販管費削減の結果、一般オーディオ機器全体としては減収ながら営業損失は改善しました。

音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAM ブランド）は、BtoC事業において、主力ハンドヘルドレコーダーに加え、米国市場で好調なピンマイク付レコーダーが売上を牽引し堅調に推移しました。BtoB事業においては、国内と米国においてブルーレイプレーヤーやCDカセット複合機など設備市場向け業務用製品が堅調に推移した他、国内地方放送局への導入拡大、輸入PAスピーカーの販路開拓などBtoB事業拡大に向けた改革が継続して進行しております。音楽制作・業務用オーディオ機器全体としては増収増益となりました。

- 高級オーディオ機器
- 一般オーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC

TEAC

TASCAM

情報機器事業

31.1%



売上収益 2,434 百万円

(前年同期比 7.6%増)

セグメント営業利益 267 百万円

(前年同期比 243.1%増)

医用画像記録再生機器
内視鏡イメージレコーダー

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録再生機器
- 計測機器
トランスデューサー
データレコーダー
- ソリューションビジネス
- 介護支援個別ケアシステム
- 産業用光ドライブ

オリジナルブランド

TEAC

航空機搭載記録再生機器は、機内エンターテインメント機器での大口案件の出荷があったものの、その他海外顧客への出荷が低調であったことから減収となりました。

計測機器は、データレコーダーにおいて防衛関連の大型プロジェクトの出荷があったことから好調に推移しました。

センサーは半導体製造装置向け販売が好調を維持したことから大きく伸長し、計測機器全体では大幅な増収となりました。

医用画像記録再生機器は、国内での消化器内視鏡向けの新製品が好調に推移しました。手術画像用レコーダーは国内・海外ともに好調に推移し、医用画像記録再生機器全体では増収となりました。

ソリューションビジネスは受託開発が好調に推移しました。

一部海外販売子会社で継続している産業用光ディスクドライブは、需要減により減収となりました。

その他事業

8.7%

売上収益 679 百万円

(前年同期比 27.9%増)

セグメント営業利益 12 百万円

(前年同期比 25.0%増)

- EMS 事業

売上収益
7,816 百万円前年同期比
0.3%増

要約連結財政状態計算書

(単位: 百万円)

	当中間期 2017年9月30日現在	前期 2017年3月31日現在
■ 資産		
流動資産	8,060	8,770
現金及び現金同等物	1,467	2,097
営業債権及びその他の債権	3,174	3,217
棚卸資産	3,183	3,197
その他の流動資産	236	260
非流動資産	2,447	2,421
有形固定資産	1,391	1,422
無形資産	525	557
その他の投資	280	190
繰延税金資産	40	34
その他の金融資産	184	179
その他の非流動資産	28	40
資産合計	10,507	11,192

	当中間期 2017年9月30日現在	前期 2017年3月31日現在
■ 負債		
流動負債	5,867	5,297
借入金等	2,417	2,477
営業債務及びその他の債務	1,829	1,256
引当金	607	644
未払法人所得税	12	4
その他の金融負債	49	10
その他の流動負債	953	906
非流動負債	4,307	5,257
借入金等	291	327
退職給付に係る負債	3,856	4,260
引当金	47	47
繰延税金負債	28	12
その他の非流動負債	85	611
負債合計	10,174	10,554
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	258	571
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	74	74
自己株式	△ 120	△ 120
利益剰余金	△ 2,670	△ 2,217
利益剰余金 (IFRS移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	405	265
非支配持分	75	66
資本合計	333	638
負債及び資本合計	10,507	11,192

Point 1 連結財政状態計算書

<資本合計>
四半期損失の計上による利益剰余金の減少などにより、前年期末に比べ304百万円減少しました。
<負債合計>
退職給付にかかる負債の減少などにより、380百万円減少しました。

Point 2 連結損益計算書

<営業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益>
売上収益は、前年同期並みとなりました。希望退職に伴う割増退職金等の費用229百万円が発生したものの、希望退職者に係る退職給付債務の精算に伴う利益158万円、および固定費削減効果により営業利益は前年同期より改善しました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

<営業活動によるキャッシュ・フロー>
主な内訳は、プラス要因として営業債務及びその他の債務の増加額572百万円、マイナス要因としては四半期損失445百万円、退職給付に係る負債の減少額421百万円です。

要約連結損益計算書

(単位: 百万円)

	当中間期 2017年4月1日~ 2017年9月30日	前中間期 2016年4月1日~ 2016年9月30日
売上収益	7,816	7,792
売上原価	4,664	4,600
売上総利益	3,152	3,192
販売費及び一般管理費	3,371	3,751
その他の損益	△ 28	24
個別開示項目前営業損失(△)	△ 248	△ 535
個別開示項目	△ 71	80
営業損失(△)	△ 318	△ 455
金融収益	5	161
金融費用	112	97
持分法による投資利益(△損失)	-	-
税引前四半期損失(△)	△ 425	△ 391
法人所得税費用	19	19
四半期損失(△)	△ 445	△ 410
四半期利益の帰属先		
親会社の所有者持分	△ 453	△ 420
非支配持分	9	10

要約連結持分変動計算書 (2017年4月1日~2017年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	利益剰余金 (IFRS移行時の 累積換算差額)	その他の 資本の 構成要素	合計		
当期首残高	6,000	74	△ 120	△ 2,217	△ 3,430	265	571	66	638
四半期包括利益									
四半期損失(△)				△ 453			△ 453	9	△ 445
その他の包括利益						141	141		141
四半期包括利益合計	-	-	-	△ 453	-	141	△ 313	9	△ 304
自己株式の取得			△ 0				△ 0		△ 0
当四半期末残高	6,000	74	△ 120	△ 2,670	△ 3,430	405	258	75	333

新しい製品カテゴリーに挑戦するクロックジェネレーター『CG-10M』 ワイヤレスで楽しみ方が広がるターンテーブル『TN-400BT』

TEAC

2017年9月に販売開始した『TN-400BT』は、様々なライフスタイルや音楽の聴き方に合わせ、アンプに接続するだけでなく、Bluetooth® トランスミッターを搭載しているため、近年人気のBluetooth® スピーカーやヘッドホンにワイヤレスで接続してレコードを楽しむことも可能です。この市場に新機種を投入することで新規ユーザー層のさらなる獲得を目指して参ります。

また、2017年10月には、USB DAC やネットワークプレーヤー、CD プレーヤーなどでハイレゾをお楽しみのお客様に、製品の性能を最大限に引き出し、ハイレゾの持つ音楽の魅力をより楽しんでいただけるよう、ティアックブランドとして新たな製品カテゴリーであるマスタークロックジェネレーター『CG-10M』を販売開始いたしました。ハイサンプリングレート化するハイレゾ時代だからこそ、高精度なデジタル処理と音質向上を追求し、お客様により楽しい音楽体験を提供していきます。

『TN-400BT』、『CG-10M』共に株式会社音元出版主催「VGP2018」において、ライフスタイル部門の金賞を受賞いたしました。



マスタークロックジェネレーター
『CG-10M』



Bluetooth® トランスミッター搭載
アナログターンテーブル 『TN-400BT』



DGP2018 金賞受賞

株式会社音元出版主催で実施されました「デジタルカメラグランプリ 2018」の動画関連アクセサリ部門において、TASCAM の動画制作向けレコーダーとマイクが金賞を受賞しました。

近年、デジタル一眼レフカメラで動画を撮影するシーンが増えており、YouTube に代表される動画配信サイトで、撮影された動画が世界に向けて配信されています。TASCAM ではその動画撮影に最適な音声レコーダーを開発。アマチュアからプロフェッショナルまで、映画、ドラマ、動画配信サイト、フィールドレコーディングなど、幅広く動画制作のニーズに応えています。TASCAM はこれからも動画制作向けのソリューションを提供して参ります。

TASCAM



カメラ用
リニア PCM レコーダー
『DR-701D』



カメラ用リニア PCM
レコーダー/ミキサー
『DR-70D』



カメラ用リニア PCM
レコーダー/ミキサー
『DR-60DmkII』



ショットガンマイク搭載
リニア PCM レコーダー
『DR-10SG』



動画撮影用
ショットガンマイク
『TM-150SG』



カメラ用
X-Y ステレオマイク
『TM-2X』

『N-01』 オーディオ銘機賞 2018 金賞受賞 『grandioso K1/F1』 オーディオ銘記賞 2018 製品特別大賞受賞

ESOTERIC

2017年8月、ネットワークプレーヤーの最上位モデル ESOTERIC 『N-01』を販売開始しました。『N-01』は、ESOTERIC の一体型デジタルプレーヤーのフラッグシップ機『grandioso K1』のために新規開発されたプレミアム DAC モジュールをクラスを超えて搭載。高度に進化したネットワークオーディオモジュールと再生用アプリケーションによる洗練を極めた使い勝手を武器に、ネットワークオーディオの進化を具現化しました。

2016年10月に発売を開始して以来ご好評いただいております『grandioso K1』と『grandioso F1』が音元出版のオーディオ銘機 2018 の製品特別大賞を受賞いたしました。これまで ESOTERIC が培ってきた技術を注ぎ込んだ grandioso シリーズは、トランスポートや DAC、プリ/パワーアンプといった、セパレートシステムを販売して参りました。『grandioso K1』と『grandioso F1』は、それらすべての技術を結集した一体型プレーヤーとプリメインアンプです。



Network Audio Player 『N-01』

音元出版< VGP2018 ピュアオーディオ部会 >
ピュアオーディオ特別大賞 特別賞受賞
音元出版< オーディオ銘機賞 2018 >金賞受賞



SACD Player 『grandioso K1』
Integrated Amplifier 『grandioso F1』

Stereo Sound Grand Prix 2017 受賞
音元出版< オーディオ銘機賞 2018 >製品特別大賞受賞

リアルタイム解析ソフト『RT-View』

TEAC



2017年10月にアメリカ・ミシガンで開催された automotive testing expo 2017 に出展しました。

映像信号を同期して記録することが可能な『VR-24』に新機能(オプション)のリアルタイム解析ソフト『RT-View』を2017年8月に追加いたしました。『VR-24』にデータを記録しながら、『RT-View』を使用することによって、本体のモニター画面で複数の解析データをパソコンなしでリアルタイム表示が可能となり、測定現場での様々なニーズに対応できるようになりました。

リアルタイム解析ソフト
『RT-View』
一面画



アナログ
ビジュアルレコーダー
『VR-24』

■ 会社の概要

商号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)
 本社 〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
 設立 1953年8月26日
 資本金 60億円
 事業年度 4月1日～翌年3月31日
 代表者 代表取締役社長 英 裕治
 従業員数 単体 249名 連結 737名

■ 役員

代表取締役社長 英 裕治
 取締役 野村 佳秀
 取締役 Henry E. Juskiewicz
 取締役 David Berryman
 取締役 Solomon Picciotto
 取締役 Bruce A. Mitchell
 取締役 Benson K. Woo
 取締役 Gerard L. J. Danjou
 取締役(監査等委員) 牧野 信明
 取締役(監査等委員) 原 琢己
 取締役(監査等委員) 坂口 洋二

国内拠点

ティアック株式会社
 本社 [東京都]
 EMC センター [埼玉県]
 大阪営業所 [大阪府]
 名古屋営業所 [愛知県]
 エソテリック株式会社 [東京都]
 ティアック マニファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]
 ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]
 ティアックオンキヨーソリューションズ株式会社 [東京都]

海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]
 TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]
 TEAC UK LTD. [英国]
 TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]
 TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]
 DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、
 自社ホームページに掲載しています。

投資家向け情報



<https://www.teac.co.jp/jp/>

■ 株式の状況

発行可能株式総数 400,000,000 株
 発行済株式の総数 289,317,134 株
 株主数 13,757 名

■ 大株主 (上位 10 名)

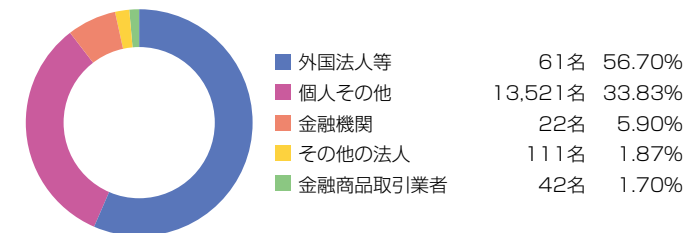
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
Gibson Holdings, Inc.	157,447	54.42
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.19
オンキヨー株式会社	2,894	1.00
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,657	0.92
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
安藤 収	2,000	0.69
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	1,972	0.68
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	1,852	0.64
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口2)	1,852	0.64
株式会社SBI証券	1,456	0.50

(注) 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

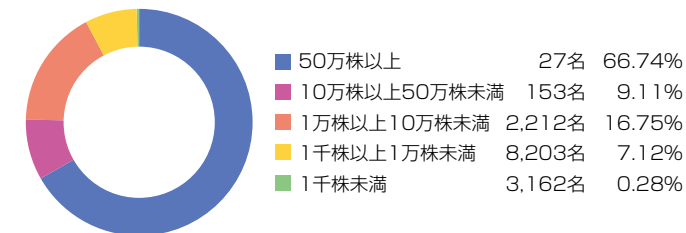
株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
 配当金受領株主確定日 3月31日
 単元株式数 1,000株
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
 (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
 公告の方法 電子公告により行う。
 公告掲載URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>
 (ただし、やむを得ない事由により、電子公告による
 ことができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

■ 株式所有者別状況



■ 株式所有数別状況



【 株式事務に関するご案内 】

- 各種お手続きのお問合せ窓口について
 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて
 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式（1,000株に満たない株式）の買取請求のご案内

単元未満株式（1,000株に満たない株式）については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。

当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料（注）としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。

（注）無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

<例：株主様が100株をご所有の場合>



- 証券会社等の口座でご所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 特別口座でご所有の株主様（証券会社等にお取引口座がない株主様）
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（TEL 0120-232-711〈通話料無料〉）にお問合せください。

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。
- 記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100（代表）
ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>

